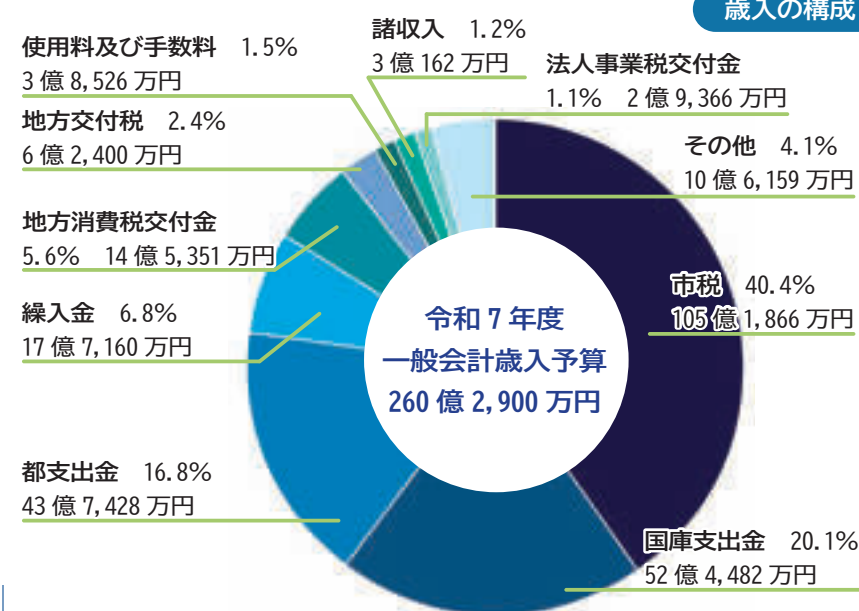


一般会計予算（過去最大を更新）

令和7年度一般会計の予算規模は、260億2,900万円（前年度比6.6%増）と3年連続で過去最大を更新する規模となりました。



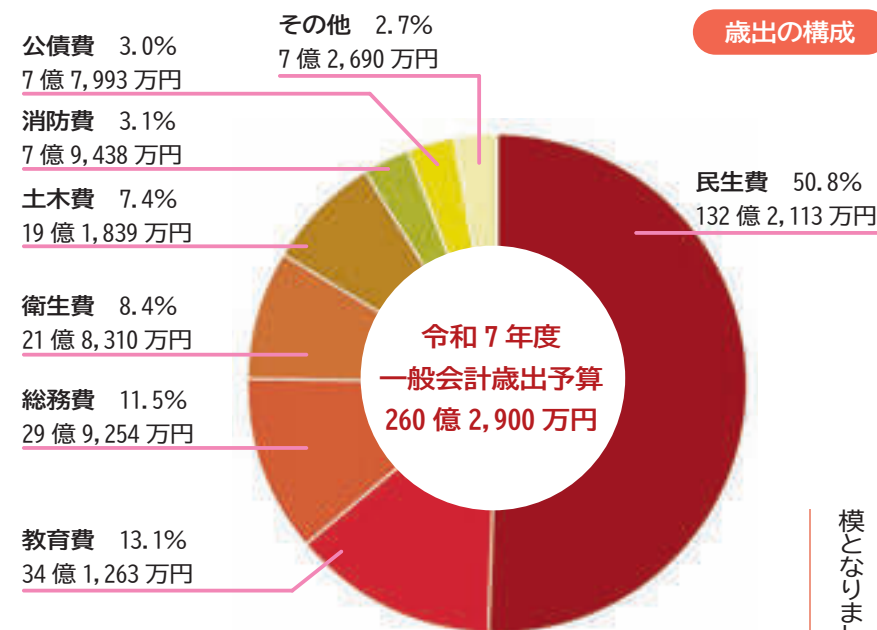
歳入

歳入の根幹となる市税収入は前年度と比較して4.8%増の105億1,866万円となり、3年連続で100億円を超える見込みです。

過去最大の規模となった歳出予算に対応するため、財政調整基金※などからの繰入金17億7,160万円（前年度比22.2%増）を計上しました。

これにより、令和7年度末の財政調整基金残高は令和6年度末と比較して半減し、厳しい財政状況にあります。引き続き、財政健全化への取組みを強力に推進し、持続可能な財政運営への転換を目指します。

※財政調整基金：年度間の財源の調整を図るための貯金



歳出

歳出の50.8%を占める民生費は、132億2,113万円（前年度比5.5%増）を見込みました。大きく増えた要因としては、東児童館空調設備等改修工事の実施、児童手当・施設型給付費といった福祉や医療の経費（扶助費）の増、後期高齢者医療会計・介護保険事業会計への繰入金が増などがあり、社会保障経費が膨らみ続けています。

教育費は前年度と比較して26.6%増の34億1,263万円を見込みました。増加の主な要因は、小・中学校における1人1台端末の更新費や学校給食費保護者負担軽減補助事業費、小作台小学校体育館改修工事費を予算化したことなどです。

さらに総務費で住民情報システム開発委託料などの増、衛生費で福生病院企業団負担金や西多摩衛生組合負担金の増などを計上した結果、過去最大の予算規模となりました。

民生費	高齢の方や障害のある方への福祉、保育の充実に
教育費	学校教育や文化・スポーツの振興に
総務費	コミュニティの振興や行政運営に
衛生費	市民の健康を守ることとごみ処理などに
土木費	道路や公園、市街地の整備などに
消防費	火災や地震などへの災害の備えに
公債費	市が借り入れた市債などの返済に

令和7年度 市の予算

～魅力あるまちづくりを目指して～

次世代につなぐ、安全・安心な未来を築く予算

問合せ 財政課☎ 320

令和7年度は子供施策の充実、超高齢社会への対応、老朽化が進む公共施設への対策、都市基盤整備、行政のデジタル化など、多様な行政課題に対し、スピード感を持ち、対応していく必要があります。また、巨大地震への緊張感が高まる中、市民の暮らしを守る対策を強化する必要があります。

財政面では、令和5年度決算で基金残高は一時的に増加したものの、経常収支比率が悪化し、財政の硬直化は依然として進んだ状態にあります。先行き不透明な状況が続く国内外の情勢を受け、引き続き、厳しい財政状況が続くものと想定しています。

こうした状況を踏まえ、令和7年度予算は創意工夫を凝らし、限りある財源を、重点的かつ効率的に配分し、引き続き「子供たちへの投資」「市民の安全・安心対策、地域の強靱化対策への投資」「行政のデジタル化への投資」という次代につながる「三つの投資」を中心に予算化しました。また、物価高騰下での市民生活を支援し、魅力あるまちづくりを目指した「第六次羽村市長期総合計画」の実現に向け着実に前進する「次世代へつなぐ、安全・安心な未来を築く予算」として編成しました。

子供たちへの投資

1人1台端末の更新、給食費の保護者負担軽減補助事業の実施、こども家庭センターの設置、学童クラブの運営の充実 など

行政のデジタル化への投資

文書管理・電子決裁システムの導入、電子契約サービスの導入 など

三つの投資と物価高騰対策

物価高騰対策

プレミアム付デジタル商品券事業の実施

市民の安全・安心対策、地域の強靱化対策への投資

防犯対策事業の実施、高齢者への補聴器購入助成の実施、羽村駅西口土地区画整理事業の実施 など

予算の詳しい内容は、市公式サイトから見ることが出来ます

令和7年度に市が重点的に取り組む事業や予算の概要、健全な財政運営に向けた取組みなどをまとめた「令和7年度予算説明書、予算の概要」を公開しています。詳しくは下の二次元コードからご覧ください。



令和7年度各会計予算

（単位：万円・％）

区分	令和7年度 (当初)	令和6年度 (当初)	増減額	増減率
一般会計	260億2,900	244億1,000	16億1,900	6.6
特別会計				
国民健康保険事業	55億6,630	58億870	-2億4,240	-4.2
後期高齢者医療	16億5,010	16億660	4,350	2.7
介護保険事業	44億9,870	43億4,380	1億5,490	3.6
羽村駅西口土地区画整理事業	18億5,410	19億6,200	-1億790	-5.5
特別会計合計	135億6,920	137億2,110	-1億5,190	-1.1
水道事業会計	18億4,242	17億4,936	9,306	5.3
下水道事業会計	18億1,004	18億6,186	-5,182	-2.8
合計	432億5,067	417億4,233	15億834	3.6

※水道・下水道事業会計は、「収益的支出」と「資本的支出」を合計し、予算額としています。
※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。